

令和8年2月3日  
気象庁地震火山部

## 配信資料に関するお知らせ

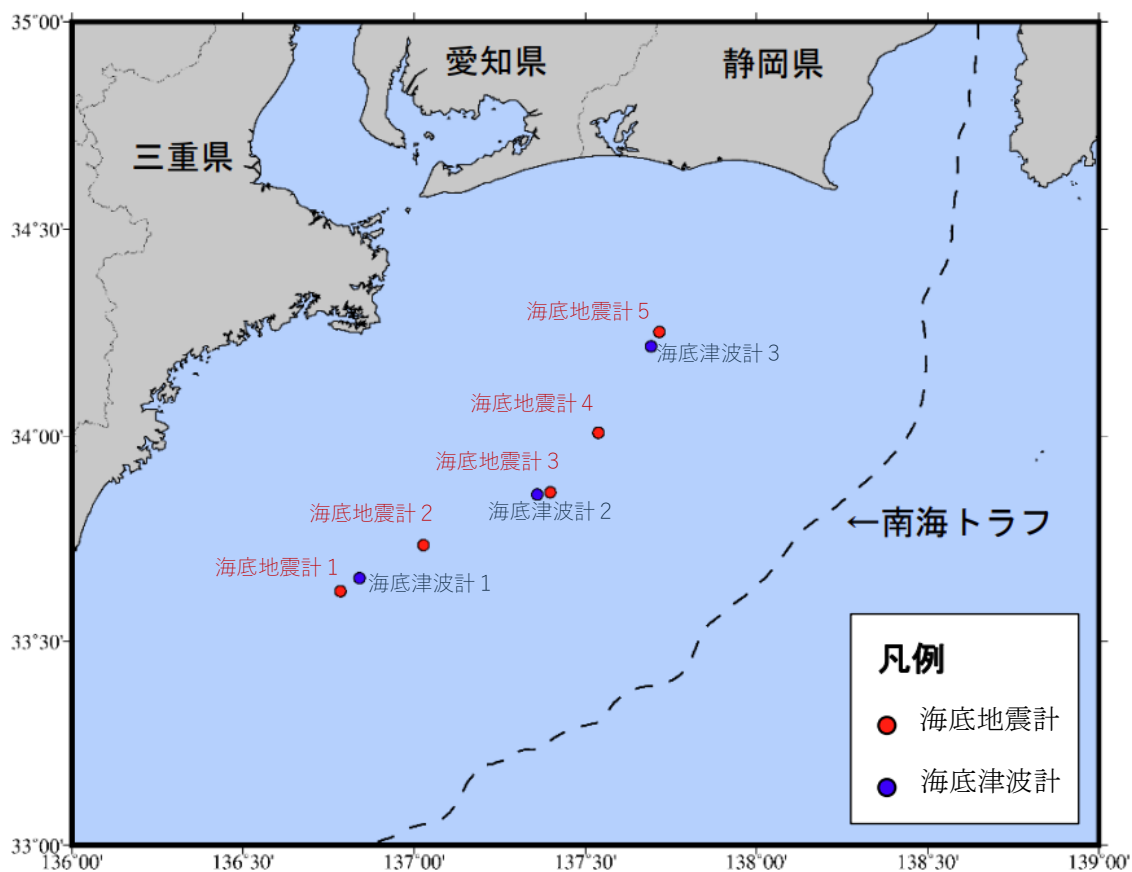
～東南海ケーブル式常時海底地震観測システム陸上局給電装置等  
更新作業に伴う緊急地震速報等への影響について～

令和8年2月9日（月）より、東南海ケーブル式常時海底地震観測システムの陸上局給電装置等の更新作業を行います（別紙1参照）。

この間、同システムの地震及び津波の観測データを監視に利用できなくなることから、同システムの観測点周辺を震源とする地震が発生した場合、緊急地震速報の発表が平常時より最大で12秒程度遅くなる（別紙2参照）他、津波観測情報に海底津波計のデータを使用できなくなりますが、津波警報等（第1報）や地震情報の発表までにかかる時間及びその内容に影響はありません。

更新作業は約1ヶ月程度を予定しています。その後、観測データの品質確認を行い順次緊急地震速報及び津波観測情報への活用を再開する予定です。活用再開については別途お知らせします。

東南海ケーブル式常時海底地震観測システムの地震計及び津波計の位置

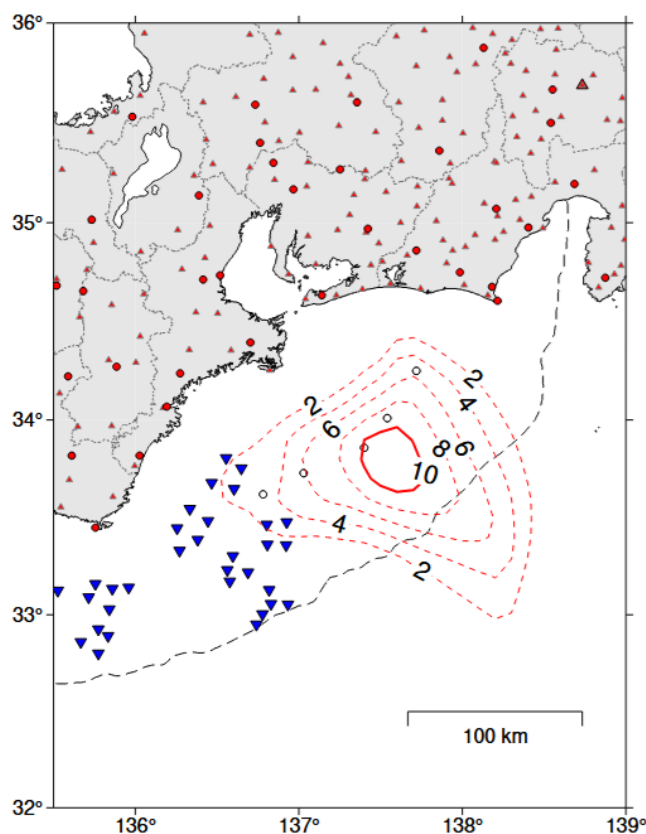


計画作業により、以下の期間中、東南海ケーブル式常時海底地震観測システムの観測データの利用に影響が生じます。

- ・ 2月9日（月）09時頃～（海底地震計、海底津波計全地点）

# 東南海ケーブル式常時海底地震観測システムの計画作業に伴う 緊急地震速報への影響について

当該海域には、東南海ケーブル式常時海底地震観測システムの観測点が設置されており、この観測データを緊急地震速報の発表に利活用しています。



●：緊急地震速報の震源推定に活用している気象庁の観測点

○：緊急地震速報への活用を停止する気象庁の東南海ケーブル式常時海底地震観測システムの観測点

以下は、緊急地震速報の震源推定に活用している国立研究開発法人防災科学技術研究所が運用管理している地震・津波観測監視システム。

▼：地震・津波観測監視システム（DONET）観測点

▲：高感度地震観測網（Hi-net）および強震観測網（KiK-net）の観測点

図中に赤で示した等値線は、東南海ケーブル式常時海底地震観測システムの観測データ（上図：○）について緊急地震速報への活用を停止した場合、地震の発生場所によって緊急地震速報の発表が通常よりどの程度遅れるかを秒数で表したものです。